

## 令和5年の年頭のご挨拶

国立国会図書館長

吉永 元信



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、国内外で平和と安全、民主主義を揺るがすような出来事が続いた年でした。皆様は、新しい年、令和5年をどのようにお迎えになりましたでしょうか。

国立国会図書館は、国会議員の皆様の調査研究に資するために昭和23年に設立され、調査及び立法考査局を中心に全館を挙げて国会の活動の補佐に取り組んできました。

「国立国会図書館ビジョン2021-2025—国立国会図書館のデジタルシフト—」では、デジタルシフトを推進するための7つの重点事業の筆頭に「国会サービスの充実」を掲げています。同ビジョンの下、国立国会図書館は、所蔵資料のデジタル化やオンライン資料の制度収集を進め、国会向け調査サービス高度化の基盤となる情報資源の拡充を目指します。このほかにも調査及び立法考査局では、政策セミナーをオンライン開催するなど、デジタル技術を活用し、国会議員の皆様の利便性向上に努めています。

昨秋には、調査及び立法考査局のサービス改善のため国会議員の皆様のご意見をお聞かせいただきました。多くの皆様から貴重なご意見・ご要望を賜り、深く感謝いたします。結果は別途ご報告するとともに、調査サービスの改善に向けていかしてまいります。

国会議員の皆様には、国立国会図書館が提供する多様なサービスを十分にご活用くださいますよう、年頭に際して、以下改めてご案内申し上げます。

調査及び立法考査局では、国会議員の皆様のご依頼を受け国政課題に関する調査を行っております。調査に際しては、秘密厳守、不偏不党はもとより、迅速性、正確性の確保に留意し、ご要望にお応えできるよう努めています。調査回答は、資料の提供にとどまらず、調査報告書作成、面談によるご説明等、ご要望に応じて充実を図っております。

また、調査及び立法考査局では、国会での議論が想定される国政課題について調査研究を行い、その成果を論文等に取りまとめ、刊行物として提供しております。昭和26年創刊、本号をもって865号を数える『レファレンス』は、中長期的観点からの政策課題の分析や、諸外国の制度比較等を中心とした論文を掲載しています。そのほか、『調査と情報—ISSUE BRIEF—』、『外国の立法』（季刊版・月刊版）、国の基本的な政策課題や科学技術に係る国政課題に関する各種調査プロジェクトの報告書等を刊行しております。これらは全て電子ファイルの形で国会向けホームページ「調査の窓」を通じてもご覧いただけます。さらに、これらの成果を直接ご説明する政策セミナーも開催しています。

また、国立国会図書館は、衆議院・参議院両院の事務局と共同で国会会議録検索システムを構築し、インターネットを通じて国民に提供するなど、国会発生情報を発信し、国民と国会をつなぐ機能の一翼を担っております。

新年に当たり国立国会図書館創立の原点に立ち返り、今後とも国内外の社会の変化を見据えて、少しでも国会議員の皆様のお役に立てるよう、調査サービスの一層の高度化に向けて取り組んでまいります。引き続き、ご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

